

情報共有 福島事務所レクメモ

4/25 13:45 FIX

東京電力株式会社

手許資料

(非管理用) (2枚)

本日(4/25)の福島事務所における9時の定例レク概要を以下の通りお知らせいたします。

4/25(月)9時定例レク概要

<説明内容>

①プラント関連パラメータの状況報告(4月25日 2:00現在)【口頭説明】

②プラント状況・作業スケジュールについて【口頭説明】

- ・各号機の原子炉への注水について
- ・各号機のT/B地下階、トレンチのたまり水の水位について
- ・1号機窒素封入状況について
- ・4号機コンクリートポンプ車による放水について
- ・集中廃棄物処理施設への廃液受け入れ作業について
- ・飛散防止剤の樹脂散布について
- ・リモートコントロール重機によるガレキの撤去について
- ・1, 2号機～5, 6号機間連絡電源ケーブル布設工事について

<主な質疑>

- Q. 4号機使用済み燃料プールの建物強度に不安がある中で注水による危険性は、また、強化策は。
- A. まずは冷却することが第一である。建屋については、外見は崩れているが、メインとなる柱は残っており、耐震上早急に対策が必要と言うわけではないが、ロードマップでは強化策が検討されている。
- Q. 建屋全体の柱が残っているという認識か。
- A. 壁は抜けているが重要な柱は残っているという評価。
- Q. 建物がゆがんでいるという情報はないか。
- A. そのような情報はない。
- Q. 4号機の使用済み燃料プールの放水量を増やしている理由は。
- A. 水温が高く水位を高め冷やす必要がある。
- Q. 耐震性は大丈夫ということで水位を増やしているのか。
- A. その通り。
- Q. 建屋の強化策の検討は、何のために実施しているのか。
- A. 余震によるリスク回避のため。
- Q. 4号機の使用済み燃料プールの注水量と蒸発量が分かれば熱量が分かるので、それにより燃料の損傷具合が分かるのではないか。
- A. 計算上では熱量を計ることは可能であるが、それが燃料の損傷具合を表しているかどうかは確認できない。熱量のデータについては、ある程度まとまった段階で説明できると思う。
- Q. 4号機の燃料が壊れていなければ、こんなに発熱しないのでは。
- A. 使用したばかりの燃料であるため、他号機に比べ発熱量が高い。
- Q. 4号機使用済み燃料プールの発熱量が分かれば教えて欲しい。
- A. 改めて整理したい。
- Q. 電源の強化策は。
- A. 津波対策としてD/Gや高圧電源車等の高台への移動を終了している。他のものについては、明示できるようになったらお知らせする。
- Q. 外部電源を確保し、本来の冷却機能を生かすための作業は怎么样了のか。
- A. 現場の状況をロボットで確認している所。まだ建屋の中の詳細が確認しきれていないため、建屋周辺のカレキ撤去等今やれることを実施している。
- Q. 窒素の封入が4時間停止することによる影響は。
- A. 4時間程度であれば、カバーできる範囲と判断している。
- Q. 移送をしてもトレンチの水位がなかなか下がらないが。

A. 地下水の流入は否定できない。しかし、サブドレンにも少し放射能が含まれているので海への放出ができない。また、地下水が中に入ってくるならば、内部の水が外へ出てこないとも言える。
現在、仮設タンクの設置作業も進めており、集中廃棄物処理施設の他の施設（雑固体廃棄物処理建屋等）の止水工事も行っており、受け入れの準備を進めている。

Q. 2号機立坑の深さはどれくらいか。

A. 立坑は、OP+4, 000mmから約-12, 000mm。

以 上

情報共有

福島事務所 12時レク

4/25 14:00 FIX

東京電力株式会社
手許資料

(非管理用)

本日(4/25)の福島事務所における12時の定例レク概要を以下の通りお知らせいたします。

福島事務所 4/25(月) 12時定例レク概要

<説明内容>

- ①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ」
(4月25日 午前10時現在)【資料配付】
- ②プラント関連パラメータの状況報告
(4月25日 8:00現在)【口頭説明】
- ③集中RW周辺 サブドレン水核種分析結果
(4月24日現在)【資料配付】
- ③作業スケジュールについて【口頭説明】
 - Q 1u2uと5u6uとの連絡電源ケーブル接続について
 - ・ポンプ電源を仮設D/Gに切替実施。
 - ・接続作業により、5uRHRポンプを一時停止予定。
(約2時間程度)
 - ・1u塞察封入を一時停止。(13時頃~17時頃)
 - Q 2uSFPへの注水について
(10:12~11:18)
 - Q 飛散防止剤の樹脂散布について
 - Q リモートコントロールのガレキ撤去について

<主な質疑>

Q. 集中RWサブドレンの測定場所⑤が上昇しているように見えるが・・・。
 A. 4/16以降、最も高い値を示しているが、変動の範囲内。今後も、変動・傾向を注視していく。

Q. 4uのSFPの水分析は？

A. プール水位および水温に係る一連の確認を実施したのちに、サンプリングも行う予定。よって、本日は予定していない。

SQ. 線量測定については、行う予定か？

SA. 測定を試みる予定。

Q. 保安院が、集中RWへの水の移送について、10日くらいからポンプを増やすと言っていたが、事実か？

A. 当初から、約2,500トンまでポンプ一台で移送、その後、問題がないかをチェックのうえ、2台に増やす予定であった。そのことを指しているものと思われる。

以上

情報共有

福島事務所 20時レクメモ

東京電力(株)

(2枚)

(非管理用)

福島事務所定例記者レク概要 (4/25 月 20時～)

<説明内容>

- ①「福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (4月25日 午後3時現在)
【資料配付】
- ②プラント関連パラメータの状況報告 (4月25日 18:00現在) 【口頭説明】
- ③「福島第一原子力発電所敷地内における空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第三十一報)」【資料配付】
- ④「福島第一原子力発電所付近の海水からの放射性物質の検出について (第三十三報)」
【資料配付】
- ⑤「福島第一原子力発電所2号機の取水口付近からの放射性物質を含む液体の海への流出について (続報21)」【資料配付】
- ⑥「福島第一 3・4号機タービン建屋地下階溜まり水の測定結果について」
【資料参考配付】
 - ・測定ポイントは、①と③は水深約1m。②は水深約1.5m。
- ⑦作業状況のお知らせ【口頭説明】
 - 1u2uと5u6uとの電源ケーブル接続について
 - ・10:57 注水ポンプの仮設D/Gへの切替
 - ・12:22 5uRHRポンプ停止
 - ※潤滑油ポンプに係るため、RHRポンプ自体を停止。
 - ・14:10 1uN2封入停止
 - ・14:44 1u2u仮設電源盤停止
(その後、ケーブル接続作業)
 - ・16:43 5uRHRポンプ再起動
 - ・17:38 1u2u仮設電源盤受電
 - ・18:25 注水ポンプの仮設D/Gからの切替
 - ・19:10 1uN2封入装置再起動
 - 4uSFPへの放水
 - ・18:15 放水開始 (23:00頃までの予定)
 - 飛散防止剤の樹脂散布について
 - リモートコントロールのガレキ撤去作業について
 - 集中RWへの移送について
 - ・移送量は、合計で約1,520立米となった。
 - 明日の作業予定について
 - ・3uSFPへの注水 (冷却浄化系で約40トンの予定)
 - ・集中RWへの移送、飛散防止剤樹脂散布、ガレキ撤去は、
継続して実施の予定。

<主な質疑>

Q. 電源ケーブル接続工事による、停電の影響・問題等は？

A. 特に報告を受けていない。

Q. 3 u T/B溜まり水の濃度が上昇している理由は？

A. 3 u から4 u へ溜まり水が流れていると想定できる。

Q. 建物が繋がっているということか。

A. 通路等で繋がっている。

Q. 具体的にどのような経路で流れ込んでいるのか。

A. 現時点においては、不明。

以 上